

88 古谷の句碑(坂本)
北梅の供養塔(比延町)

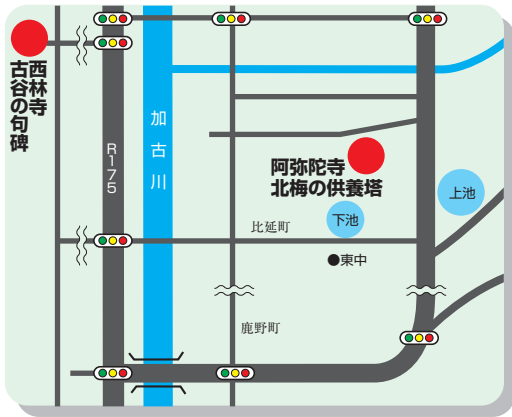
みどころいっぱい・西脇
ふるさと探訪



▲西林寺本堂近くの朗霞庵古谷の句碑



▲比延町にある古溪斎北梅の供養塔



比延町の阿弥陀寺の墓地には、古谷と北梅が眠っており、北梅の供養塔があります。

比延町で生まれた著名な文人に、朗霞庵古谷と古溪斎北梅親子がいます。
古谷は天明7年(1787年)に生まれ、若くして俳句を志しました。京都東山の成田蒼虬に師事し俳諧連衆の免許を受け、全国的に活躍したといわれています。西林寺本堂の北側に古谷の句碑があるほか、播州清水寺(加東市)の阿弥陀堂東側にも句碑が残っています。
北梅は、文政4年(1821年)に生まれ、華道を志し、嵯峨御所華方末生家の郡会司、国会司、播州総会司となりました。また、俳人としては朗霞庵二世を名乗りました。
比延町の阿弥陀寺の墓地には、古谷と北梅が眠っており、北梅の供養塔があります。

編集室から



兵庫県は「駅伝王国」といわれています。その屋台骨を支えているのは、西脇工業高校をはじめとする高校生ランナーたち。彼らは卒業後もそれぞれの舞台で活躍し、日本陸上界を大いに盛り上げています。

2月17日は第5回西脇多可新人高校駅伝大会。全国からトップクラスの高校生ランナーがやって来ます。皆さんも沿道からご声援をよろしくお願ひします。ランナーばかりに脚光が当たりがちですが、ボランティアの存在を忘れてはいけません。大会運営だけでなく、住民によるコース上の清掃、大会当日の炊き出しなど多くの方に支えられて成り立っています。

市のホームページが新しくなりました。ライフシーン別・目的別にページが構成され見やすくなっています。また、3月にはfacebookページも開設する予定です。さまざまな情報を発信していきますので、ぜひ「いいね!」を押してくださいね。【H】

今月の一枚



左から都道府県対抗駅伝優勝の足立幸永監督と箱根駅伝優勝の別府健至監督。二人は西脇工OB。今後のさらなる健闘を誓い合いました。(広島で)

発行/西脇市
編集/総務部秘書広報課

〒677-8511 西脇市郷瀬町605
TEL.0795(22)3111 FAX.0795(22)1014
西脇市HP/http://www.city.nishiwaki.hyogo.jp

西脇の自然

カシラダカ
(ほおじろ科)

西脇市動植物生態調査
研究グループ



十羽から数十羽の群れで雑木林の近くの農耕地で雑草の種子等を食べています。全体が地味な茶色なので地上にいるところを見つかるのは難しいですが、危険を感じると一斉に飛び立って木の枝に止まって警戒します。そんな時は頭上の羽を立てるので、これが「頭高」の名前の由来になっています。シベリアから欧州にかけての高緯度地域で繁殖し、越冬のために日本にやって来ます。雑草が茂った雑木林の放置された林縁という空間(里山)が遠隔地からやって来た彼らの最高の越冬地です。そんな里山を昔のような姿で残してやりたいものです。

西脇多可休日急患センター

◆ところ 西脇市下戸田652-1 西脇病院救急外来室
◆診察日 日曜日
(年末年始を除く)
午前9時~午後5時

◆問合せ ☎23-5380
※病状やけがの様子など、電話であらかじめご連絡ください。
必ず健康保険証を持参ください。

2月の出務予定医師

2月 3日(日)	天野 昌彦 先生
2月10日(日)	富田 誠人 先生
2月17日(日)	山本 壽幸 先生
2月24日(日)	生野 哲雄 先生